

教育目標 豊か心をもち たくましく生きる

大和の子 ~積み重ね つみ重ねても またつみかさね~

令和 8年2月20日 No. 23 文責:校長 河野 太郎

出前授業（6年生）



毎年この時期に、6年生は中学校入学に向けて出前授業の体験をします。まずは、6年生が中学校に出向き、体育の授業を受けてきました。この授業は、檜形地区4校の6年生が一堂に会し、一緒に体育の授業を受けるというものです。今回はインフルエンザの関係で参加できない学校もありましたが……。

中学校の校舎や体育館に入ることはなかなかないので、行く前から少し緊張気味の6年生でした。

体育館に入ると小学校のものとは違い、なんとなく広く見えます。そして小学校と大きく違うところは、南北にそれぞれ階段状のスタンド（観覧スペース）がある点です。その分広さを感じます。

「中学校では、クラスだけではなく何クラスか一緒に体育の授業をします。」

「体育のときは、特に厳しく声をかけることもあります。それは、何よりみんなに安全に体育に臨んでほしいからです。体育は怪我と隣り合わせ。怪我のないようにやってほしいので、ここは厳しくいきます。」

と中学の先生の説明が続きました。どの学校の子どもたちも真剣に耳を傾けていました。

説明が終わると今度は、軽く準備体操を行い、いよいよグループに分かれてマット運動に入りました。最初は簡単な技、慣れてきたところで難易度を上げていきます。最初はぎこちなかった6年生の動きも次第にのびのびしたものになってきました。



6年生が学校に来るのは、あと20日程度です。今回の体育の授業で学んだことを中学校に向けて生かしてほしいと思います。

4・5年生授業参観

13日（金）には、4・5年生の授業参観が行われました。5年生は算数の授業に挑戦しました。どちらのクラスもグループでの話し合いを取り入れながら、課題を解決して



いきました。グループでの話し合いにも慣れ、活発に意見交換をする姿が印象的でした。

一方4年生は、「十歳式」です。これまでの自分の成長を振り返り、これからの自分について考える良い機会です。式の中では、これまでの成長を紹介したり、できるようになったことを実際に披露したりしていました。保護者の皆様これまでの感謝の気持ちを伝えるために、呼びかけをしたり手紙を渡したりすることができました。



4・5年生の保護者の皆様には、ご多用の中参観していただき、ありがとうございました。子どもたちも嬉しかったと思います。

ヴァイオリンとピアノのハーモニーに包まれて（芸術鑑賞教室）

2月16日（月）には、芸術鑑賞教室が行われました。あいにく、6年生はインフルエンザの感染予防に伴う学年閉鎖中でしたが、日程調整の関係でこの日に実施しました。



この芸術鑑賞教室は、毎年行っていますが、「音楽」「劇」の内容を交互に実施しています。今年度は「音楽」ということで、ヴァイオリンとピアノの演奏をお願いしてありました。

来校していただいたのは、ヴァイオリニストとして「中嶋みつきさん」、ピアニストとして「阿久津さちさん」の2名です。中嶋さんは、なんと南アルプス市出身です。中学生や高校生の時から、日本の多くのコンクールで入賞、世界的に有名なコンクールにも出場し素晴らしい成績を収めてきた方です。阿久津さんは、東京で生まれ、その後ドイツや埼玉で育った方です。阿久津さんも高校生時代から日本の数多くのコンクールで優秀な成績を収められました。そしてもちろん世界の舞台でも活躍中の方です。

ピアノは学校行事でよく見たり、音を聴いたりしていますが、ヴァイオリンの音を生で聴くことは、なかなかありません。どんな音になるのか、子どもたちも興味津々でした。

演奏曲は、ディズニーソングメロディーやクラシックなど、比較的馴染みの深い曲ばかりで、楽しく聴くことができました。途中、クイズもありました。演奏する曲が何を表しているか、曲を聴いて当てるクイズです。明るい雰囲気かさみしい雰囲気かなど、子どもたちも真剣に聴き、答えの発表があると、大喜びしたり悔しがったりする姿があちこちで見られました。



1時間という時間でしたが、あっという間の楽しい時間。演奏してくださった中嶋さん、阿久津さん、本当にありがとうございました。